

信州のみち



豊かな地域づくりをめざして

巻頭言

コロナ禍での信州のみちづくり

長野県道路整備期成同盟会 会長 小池 清

1

時の話題

「信州道の駅交流会」が設立されました

長野県建設部 道路管理課

1

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策 (H30～R2)

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策 (R3～R7) (道路関係)

長野県建設部 道路管理課・道路建設課

2

道路施設の老朽化対策について

長野県建設部 道路管理課

2

供用箇所の紹介

主要地方道大町麻績インター千曲線 山清路バイパス (山清路大橋) 開通

生坂村長 藤澤泰彦
主要地方道大町麻績インター千曲線整備促進期成同盟会 会長 筑北村長 関川芳男

3

木曾川右岸道路 川向工区・登玉～和村区間開通

南木曾町長 向井裕明
木曾南部木曾川右岸道路整備促進期成同盟会 会長 大桑村長 貴舟 豊

3

都市計画道路 羽場大瀬木線 (主要地方道飯島飯田線) 切石～北方工区開通

飯田市長 佐藤 健
都市計画道路羽場大瀬木線改良促進連絡協議会 会長 (伊賀良まちづくり協議会 会長) 宮下 博

4

一般県道箕作飯山線 箕作～明石区間 (明石大橋) 開通

県道箕作飯山線改修期成同盟会 会長 野沢温泉村長 富井俊雄
平滝区長 桜沢広文

4

主な供用箇所 (令和2年1月～12月)

4

地域の道から

道の駅の紹介

マルメロの駅ながと、ピーナスライン夢科湖、信州平谷

5

信州ふるさとの道ふれあい事業 (アダプトシステム)

三日市場区・堀之内区・あじさい会、北部フラワー愛好会

6

道路事業功労者表彰

明社 上新井

6



主要地方道大町麻績インター千曲線 山清路バイパス (山清路大橋)



コロナ禍での信州のみちづくり

長野県道路整備期成同盟会 会長 小池 清

日頃より本同盟会の活動に対しまして、深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大が、あらゆる人々の生活様式に多大な影響を及ぼしました。

本同盟会の活動も、会員の皆様の協力のもとCOVID-19拡大防止を考慮し新しい方式により、例年とは異なりWeb方式や規模を縮小するなどして実施してまいりました。

このようなコロナ禍の中「働き方の新しいスタイル」として、3密を避けた「テレワークの拡大」や、労働と休暇を組み合わせた「ワーケーション」など今までにない働き方が提唱されるなど、特に大都市圏での勤務・生活の選択肢が増え、地方への移住等を検討している人も少なくないと言われております。

これに伴い、長野県は地理的条件・自然環境等の理由から多くの人々が移住、また、働く場・居住地として検討しているとの報道もあり、本県の魅力が再認識されることとなりました。

しかしながら、広大な県土と、時として猛威を振るう自然に直面する本県においては、全ての人々の安全で安心な生活の実現、地域間交流の促進、地域の特性を活かした魅力あふれる地域づくりを進める上で、県土の骨格を形成する高規格幹線道路から生活に密着した市町村道に至るまで、道路ネットワークを確実に構築していくことが重要課題となっております。

また、近年、全国的に大きな災害が相次いで発生しており長野県内においても、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨等で大きな被害を受ける中、改めて信頼性の高い道路造り、災害時に地域を孤立させない道路網の確保が、より一層重要となっております。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に続く「5か年加速化対策」が老朽化対策も加え計画されることは、我々の強い要求がなかったものと大変ありがたく、しっかりと計画をたて、対策を実施していく所存です。

引き続き、本同盟会ではコロナ禍においても、災害に強い道路整備と、道路施設の老朽化対策が着実に推進できるよう、要望活動や広報活動に努めてまいりますので、引き続きの御支援、御協力をお願いいたします。

長野県建設部 道路管理課

「信州道の駅交流会」が設立されました

長野県内には道の駅が52駅あり、これは全国で3番目に多い駅数です。この道の駅の皆様が一堂に会し、情報共有や連携した取組により地域づくりへ寄与するとともに、各道の駅の健全な運営と経営を図ることを目的に「信州道の駅交流会」を設立することとなり、令和2年11月27日に設立総会が開催されました。



また、交流会の設立記念行事として「信州道の駅ARスタンプラリー」が令和2年10月16日から12月31日まで実施されました。感染症予防を考慮した、スマートフォンを利用する非接



【R 2.11.27 設立総会】

触型のスタンプラリーで、県内を4つに分けたブロック内でスタンプを集めるブロック賞や、4ブロック全てを巡る周遊賞をめざして多くの方に参加していただき、総数で約14,000スタンプが発行されました。



◀【スタンプラリーのマーカー】
各駅のマーカーをスマホでスキャンするとスマホ内にスタンプが貯まります

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策 (H30～R2)
防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策 (R3～R7) (道路関係)

国では、頻発する災害で、尊い人命が失われ、また、重要インフラの機能支障により経済や生活に多大な影響が発生したことから、緊急にハード・ソフト対策を実施するため、平成30年に「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を決定し、県も道路事業では、落石等の危険箇所対策、積雪時の車両のスタック対策、道路情報施設・道の駅等の停電対策等を実施し効果をあげてきました。

さらに、令和2年12月には「3か年緊急対策」に引き続き、激甚化する風水害や切迫する大規模地震等に対し、国土強靱化の加速化・深化を図るものとして、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を閣議決定しました。

これを受け長野県では、道路ネットワークの機能強化として道路改築や法面・盛土の土砂災害防止対策、市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策、渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流出防止対策を、また予防保全への転換による老朽化対策の加速として、定期点検等により確認された修繕が必要な橋梁・トンネル・道路附属物・舗装の対策を集中的に実施してまいります。



法面対策の状況(小谷村)



バイパス整備の状況(上田市)

道路施設の老朽化対策について

高度経済成長期に建設された道路施設の老朽化が進み、橋梁を例にとると10年後には完成から50年（老朽化の目安となる年数）を経過した数が、すべての橋梁の約6割を占める見込みです。

このため、県及び市町村では橋梁、トンネル、シェッド等の施設について、定期点検の結果を踏まえた「長寿命化修繕計画」を策定しており、大規模補修が必要になる前に修繕を行う「予防保全」の考え方を取り入れることで、効果的・効率的な老朽化対策に努めています。

○ 道路法に基づく橋梁の法定点検結果 (H26～H30)

● 県管理橋梁

	全数	判定レベル			
		IV	III	II	I
橋梁数	3,820	3	984	1,936	897
(割合)		0.1%	26%	51%	23%



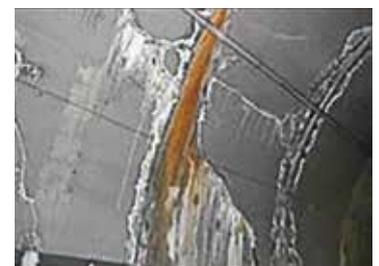
(橋梁老朽化の状況)



(スノーシェッド老朽化の状況)

● 市町村管理橋梁

	全数	判定レベル			
		IV	III	II	I
橋梁数	16,839	36	1,870	8,779	6,154
(割合)		0.2%	11%	52%	37%



(トンネル老朽化の状況)

- (レベルⅣ：「緊急措置段階」)
- (レベルⅢ：「早期措置段階」)
- (レベルⅡ：「予防保全段階」)
- (レベルⅠ：「健全」)

**レベルⅢ、Ⅳ橋梁は
5年以内に修繕が必要**



主要地方道大町麻績インター千曲線 山清路バイパス (山清路大橋) 開通に寄せて

生坂村長 藤澤 泰彦

今回の事業は、当村山清路地籍において平成19年に大規模な岩盤の崩落によって、2トン車以上通行規制の旧山清路橋を通行することになり、長野県建設部がビルド・バック・ベターで取り組まれ、山清路バイパス工事が始まりました。

当路線は、長野県の中央部を東西に結ぶ最短路線で、麻績インターから東北信地方、大北地方へのアクセス道路として、地域間の交流、観光や産業の振興に寄与するとともに、地域の皆様にとっては大切な生活道路でございます。

今回の開通により、緊急車両が通行できるなど、安全・安心な生活や交通が確保できましたので、今後は旧道を遊歩道に整備し、信濃十名勝 山清路の観光振興に努めてまいります。

結びに、長野県をはじめ関係各位の多大なご尽力、ご支援を賜り開通できましたことに、心から敬意を表し感謝を申し上げます。



山清路大橋開通に寄せて

主要地方道大町麻績インター千曲線 整備促進期成同盟会

会長 筑北村長 関川 芳男

この度の主要地方道大町麻績インター千曲線 山清路バイパス(山清路大橋)の事業につきましては、平成19年に生坂村山清路地籍で大規模な岩盤崩落があつて以来、山清路橋の2トン車規制が強いられておりましたが、念願のバイパスルートの整備が進められ令和2年12月13日に盛大に開通式が行われましたことは、地域の皆様方のご理解とご協力と施工者の技術力の結集、高度な施工監理の賜物と重ねて厚く御礼申し上げます。

本路線は県の中央部を東西に結ぶ最短路線で、当該地域の生命線でもあり重要路線ですが、未改良区間も多いため今後の道路改良促進活動に傾注する所存であります。

本事業に関係された皆様方の更なるご活躍とご健勝とともに、利用者の皆様方が快適で安全な通行ができますことをご祈念申し上げ、併せて、地域の発展を期待しております。



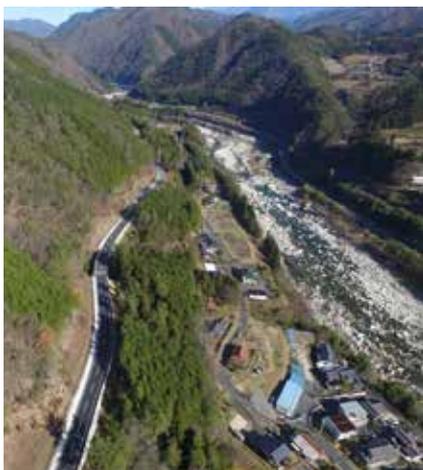
木曾川右岸道路



南木曾町道川向柳野線 川向工区開通に寄せて

南木曾町長 向井 裕明

この度木曾川右岸道路川向工区(L=1.8km)が供用開始となり、本当に嬉しい限りです。平成26年7月の豪雨災害では、川向工区対岸で町の中心部にある梨子沢(なしざわ)に蛇抜け(土石流)が発生して国道から町道まで全ての道路が通行不能となったため、迂回路としてこの川向地区の狭い町道が大混乱となりました。今回の供用開始はまさに地元



待望の開通であります。計画から施行まで長期間に渡って、ご尽力頂いた長野県をはじめ多くの関係の皆様へ深くお礼申し上げます。今後は先線(田立区間まで)のルートを決めて頂き、一日も早く木曾谷悲願の全線完了となる事を心からお願い申し上げます。喜びの声と致します。



上松町登玉~大桑村和村 区間開通に寄せて

木曾南部木曾川右岸道路 整備促進期成同盟会

会長 大桑村長 貴舟 豊

木曾川右岸道路の南部ルートは、平成21年度に延長30kmが一般県道上松南木曾線として認定され事業が進められています。このたび上松町登玉から大桑村和村区間が開通を迎えました。

この区間は、平成22年度から全体延長3.2kmが整備され、上松町と大桑村を結ぶ国道19号の輸送機能を補完し、災害時には緊急用道路となるなど、地域の安全安心を確保する道路として今後地域住民の利便性の向上と地域経済の発展をもたらすものと期待しています。

ここに完成までご尽力いただいた長野県をはじめご協力いただいた地権者、関係各位に敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。



木曾南部木曾川右岸道路整備促進期成同盟会として、今後も引き続き全区間の早期完成を地域住民と一丸となって関係機関へ要望していきます。



都市計画道路 羽場大瀬木線 切石～北方工区の開通に 寄せて

飯田市長 佐藤 健

平成17年度から整備が進められてきた切石～北方工区が令和2年3月14日に開通いたしましたこと、大変うれしく思っております。

これもひとえに、地権者の皆様方のご理解とご協力、関係各位のご尽力とご熱意のおかげと、改めて深甚なる敬意を表し御礼を申し上げる次第です。

当路線は飯田都市環状道路の一部を形成し、飯田ICから飯田市街地を迂回しながら市の西部を貫く、中央自動車道を補完する重要な幹線道路であり、また将来的にはリニア中央新幹線の長野県駅へのアクセス道路としての機能も果たします。

開通により下伊那郡西部方面、飯田市中心市街地及び松川町、高森町方面間の双方向アクセスが格段に向上しており、観光をはじめ、飯伊地域の産業の発展にも大きく寄与するものと期待しております。



都市計画道路 羽場大瀬木線改良促進連絡協議会 会長 (伊賀良まちづくり協議会会長) 宮下 博 様 都市計画道路 羽場大瀬木線の開通を祝って

令和2年3月14日、都市計画道路 羽場大瀬木線の切石～北方区間の北方トンネルが完成し、羽場地区から大瀬木までの全線が開通の運びとなりました。

この道路は昭和42年の立案から開通まで50年余りの歳月を経ており、地元住民にとってはまさに待望久しい道路であります。

開通により、伊賀良以西の中山間地から飯田市街地への交通の利便性は格段に向上し、また長年の課題でありました切石地区での慢性的な交通渋滞が解消されました。

結びに、地権者をはじめとする地元住民の皆様、県の関係諸機関並びに工事関係の皆様へ御礼を申し上げます。



一般県道箕作飯山線全線供用 開始及び明石大橋開通に寄せて 県道箕作飯山線改修期成同盟会 会長 野沢温泉村長 富井 俊雄

本路線は、栄村箕作を起点に野沢温泉村を經由して飯山市に至る全長18.1kmの一般県道で、このうち箕作から明石間の約2kmが通行不能区間でしたが、長野県北部地震により第1次緊急輸送路である国道117号が被災して通行止めになったことから代替道路機能の確保と災害に強い道路整備を目的として、平成24年から震災復興事業として着手いただきました。

昭和35年に同盟会を発足し今年で60年を迎える中、ようやく同盟会当初の目的が達成されることになりました。

長野県北部地震の復興のシンボルとして末永く愛される橋りょうとなることを切に希望し、これまで、事業推進に当たられた県ご当局を始め、関係者に敬意を表するとともに心から感謝申し上げます。



平滝区長 桜沢 広文 様 県道箕作飯山線(明石大橋)の 供用開始にあたって

ようやく念願の道が全線開通となり感慨無量です。隣の明石集落には、これまで、目と鼻の先でしたが、往来には遠い地域でした。しかし、これからは、散歩がてらに行ける所となりました。また、北部地震の時は、国道・橋に被害が発生しているとのことから、一時栄村は孤立状態の時がありました。ですが、これからは、二つの経路があり、このような災害時でも、安心して安全に行動が出来るものと感じています。今回の工事に当たっては、多くの方々のご尽力・ご協力があって、半世紀以上に渡っての取組が実を結んだものであり、関係の皆様方には深く感謝申し上げます。



主な 供用箇所 (令和2年 1月～12月)

年月日	路線名	市町村名	箇所名(ふりがな)	延長(km)	備考
令和2年1月17日	(村)20号線	小川村	鴨之尾橋(かものおばし)	0.1	全線開通
令和2年3月14日	(主)飯島飯田線	飯田市	切石(きりいし)～北方(きたかた)	0.7	全線開通
令和2年3月19日	(主)別所丸子線	上田市	柳沢(やなぎさわ)	1.5	全線開通
令和2年11月9日	(一)箕作飯山線	栄村～野沢温泉村	箕作(みつくり)～明石(あかいし)	2.5	全線開通
令和2年11月27日	(一)与地辰野線	辰野町	北大出(きたおおいで)	1.3	全線開通
令和2年12月6日	(町)川向柳野線	南木曾町	川向(かわむかい)	1.8	全線開通
令和2年12月13日	(主)大町麻績インター千曲線	生坂村	山清路(さんせいじ)	0.4	部分開通
令和2年12月24日	(一)上松南木曾線	上松町～大桑村	登玉(のぼりだま)～和村(わむら)	3.2	全線開通

道の駅の紹介



マルメロの駅ながと（長和町）

長野県のほぼ中央に位置し、国道152号を始めとする国道が3本交わり、古より人々が交流する交通の要衝にあるのが「道の駅マルメロの駅ながと」です。令和2年度にトイレ、駐車スペースをリニューアルし、商業エリアまでの回廊と足湯が新設され、農産物直売所がオープンしました。



農産物直売所「マルシェ黒耀」は、地元農産物はもちろん、多目的スペース、軒下市場、黒耀カフェや情報コーナーなど様々な機能を備え、長和町の魅力を発信しています。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



HPアドレス <https://marche-kokuyou.jp/>

ビーナスライン蓼科湖（茅野市）

蓼科湖のほとりに誕生した道の駅。木々の隙間から湖をのぞくと、まるで絵画のような景色が楽しめます。湖周には遊歩道が整備されており、隣接の彫刻公園を含め、湖の景観や芸術作品を眺めながら散策することができます。



大きな商業施設はありませんが、キッチンカーの出店や、季節営業の農産物直売所が賑わっています。周辺には地元観光事業者によるこだわりの店舗もあり、蓼科牛専門の焼肉バル「ITTOU」や八ヶ岳産の牛乳や地元の果物を使ったソフトクリーム店「蓼科アイス」も人気です。ぜひ、蓼科でほっと一息を。



HPアドレス <https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kankou/299.html>

信州平谷（平谷村）

国道153号沿い標高920mの高原にある道の駅「信州平谷」は、四季折々の自然を楽しみながら、ドライブの途中でちょっと一息、開放感あふれる露天風呂につかって疲れを癒すのに最適の場所です。



大きな露天風呂が大人気の「ひまわりの湯」は、たっぷりのお湯で足腰を伸ばせる大浴場で、時間を忘れてリフレッシュできます。更に、宿泊施設、温水プール、レストラン、農産物直売所も併設しています。

施設名に使われている「ひまわり」は平谷村のシンボルで、夏の風物詩となっています。ぜひ一度お越しください。



HPアドレス <https://hiraya-himawarinoyu.com/>

信州ふるさとの道ふれあい事業（アダプトシステム）

三日市場区・堀之内区・あじさい会（白馬村）

1 活動内容の紹介

三日市場区・堀之内区・あじさい会は20数年前から白馬村に入ってくる街道（県道白馬美麻線）にあじさいを植えています。

2 活動団体のメッセージ

白馬村は白馬三山とアルプスの山並みの美しい村です。観光客も多く、更に美しい村にしようと、本会は村に入ってくる街道沿いに訪れるお客様を花でおもてなしをし、村民も住んで楽しめる村になるように、あじさい街道を作りました。

今では、あじさいを植える活動は全村的な広がりを見せています。



地域を花いっぱい!! 北部フラワー愛好会（中野市）

1. 活動内容の紹介

国道117号から地域市街に入る道路の両側は空き地になっていました。地域の出入り口でしたので、気持ちの良い場所にしたいと、平成20年より活動を始めました。高齢化が進む中、しだいに次の世代の若者やその子供さんたちも参加し、にぎやかなふれ合いの場にもなっています。

2. 活動団体のメッセージ

12年も続けているとゴミのポイ捨てもなくなり、季節の花々が咲き誇る様は地域の方ばかりでなく、多くの通勤者の目にも止まり楽しんでいただいています。これからも楽しんでもらえるように活動を続けていきたいと思えます。



道路事業功労者表彰

長野県道路整備期成同盟会定期総会（R2.9.7開催）において、道路事業功労者表彰を行い令和2年度は、1団体が受賞されました。

明社 上新井様（松川町）

平成12年から、国道153号及び主要地方道松川インター大鹿線沿線において花と緑に囲まれた花々が通勤、通学や町を訪れる人々に喜んでもらえるように憩いの場と安らぎを創生した環境整備に大きく貢献した活動を行っています。



事務局だより

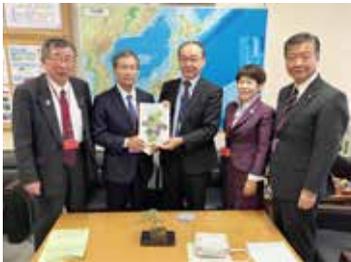
*以下の行事を行いました。ご協力ありがとうございました。

第73回定期総会 (R2.9.7開催)

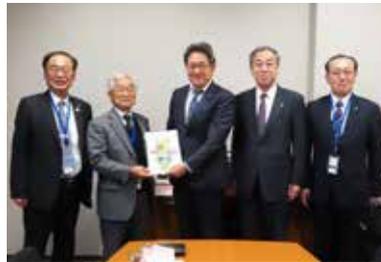


小池清会長 (長野県議会議長)

要望活動 (R2.11.10実施)



吉岡幹夫国土交通省道路局長



杉尾秀哉参議院議員



佐藤信秋参議院議員



道路の整備促進に取り組むため
県議会議員有志による「信州みちの会」発足
(R2.12.11)

第20号 (令和3年2月)

発行：長野県道路整備期成同盟会

〒380-8570 長野県長野市南長野字幅下692-2

長野県建設部道路建設課内

電話 026-235-7318 (直通)

FAX 026-235-7391

印刷：カシヨ株式会社

「信州のみち」についてご意見・ご要望をお寄せください。